

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 木美だんらんの家

グループの名称 吉備の家造り研究会

直近採択グループ番号 04-0452-0599

(グループ代表者)

代表者名 萩原 徳義 代表者印

代表者所属先 倉敷トヨー住器株式会社

代表者所在地 岡山県岡山市南区植松550番地の3

代表者電話番号 086-362-3855

(グループ事務局)

事務局事業者名 倉敷トヨー住器株式会社

事務局担当者名 東 章博 印

事務局郵便番号 710-0151

事務局所在地 岡山県岡山市南区植松550番地の3

事務局電話番号 086-362-3855

事務局FAX 086-362-3857

事務局担当者E-mail kurashiki-tj.one@watch.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
		申請が未確定(上限100万円)			戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸	
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸	
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸	
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸	
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	申請が未確定(上限150万円)			戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/		
			m ²			
		申請が未確定	0 棟			
			m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	上限金額を分割せず、希望施工業者による抽選					
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)					
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 1 戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)					
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)					
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 1 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)					
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
優良建築物型						
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0 棟 完了実績(竣工予定含む)棟数 0 戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0 m ² 完了実績(竣工予定含む)床面積 0 m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木美だんらんの家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 吉備の家造り研究会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0452-0599	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	岡山県の気候・風土に合った家造り考慮し、以下の性能を重視する、 【断熱性能含むバツプ要素の追及】 ・断熱性能を重視し、建設地の当該省エネ区分において、ワンランク上の基準(UA値)をクリアする。 ・上記性能を遵守したうえで、一次エネルギー消費量を全物件において計算し、「低炭素基準」をクリアする。 ・蒸暑地であることから、夏季日射取得率を基準値より20%以上の向上を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・年間日射量の比較的多い地域であることから、太陽光発電の効力は多く見込める地域であるため、「長寿命型」希望のユーザーには義務化はできないが、将来的に設置することを見込んだ屋根荷重強度および、設置を見込んだ設計は必須である。 ・岡山県の住宅取得年齢は全国的に見て低い傾向にある。裏返せば、長く住その家に住むことになるので、長寿命型(長期優良住宅)の必要性は必然的に高くなるとともに、加齢や家族構成の変化にも対応できる住宅が求められる。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・夏季に日射の侵入する大型開口部(W1600:H1100以上)には、外部日射遮蔽部材を設置することとする。 ・また、冬季における日射取得も考慮し、開口部における硝子性能を方位により使い分ける。 ・「通風」を考慮した設計については「数値データ」で評価することとする。	○
④①～③の背景	・岡山県南部の気候は瀬戸内海式気候であり、夏季には日中の気温は35℃を超える猛暑・酷暑となり、また、瀬戸内特有の「風」と呼ばれる現象により、夏季は特に不快な時間帯が多いため、快適に過ごすための工夫が必要である。 また、冬季においては、地元の人々は、「岡山は温暖地」という意識を強く持っているため、家の断熱性能にこだわりをみせないユーザーが多く、そのために、冬寒い思いをしている場合が多く見受けられる。したがって、断熱性能においては、「施主の要望」に添うのではなく、設計者・施工者の価値基準を優先させることで、断熱性能、強いては一時消費エネルギー対策の向上を浸透させる必要がある以上の事から、当グループにおいては、夏季・冬季の不快な季節を快適に過ごす家造りを基本コンセプトとする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地方創生の一環として、まず、郷土への愛着・誇りを持つことが必要である。また、近年の住宅購入者は30代・子育て世代が主役であることから、子供たちの成長とともに育つよう、県花である「桃の木」をシンボルツリーとして、希望者の敷地内へ植樹することとする。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	木造軸組み工法に限定し、一般的なモジュールによる建築とする	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱性能強化をグループのルールとしているため、温熱環境に影響力の高い開口部の性能を、熱貫流率2.33以上の高性能サッシに限定(推奨)	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 取扱いメーカーを絞ることで、発注・見積業務の効率化及び、価格面での交渉を優位に進める体制を取っている。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ会員に会員相互の情報提供を促し、地場工務店として合理的な施工・経営ができるよう、アシストしていく。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による地盤補償のみ	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木美だんらんの家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 吉備の家造り研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0452-0599	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	◎
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関に登録し、内容・蓄積を委託する	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関に登録し、内容・蓄積を委託する	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関にて設定されている確認手法の活用	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅申請に基づく点検の実施	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記第3者機関により提供されている確認手法の活用	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の自主性の中で、実施	
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の自主性の中で、実施	
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の自主性の中で、実施	
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な情報交換会の中で、情報提供・共有を行う	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な情報交換会の中で、情報提供・共有を行う	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より、経験工務店への協力依頼および、各関連メーカーへの問い合わせ等、適宜実施	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 本適用申請書の内容遵守	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会の中で、事務局により確認	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年間目標の設定および、進捗の確認	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年の省エネ義務化に準じ、「長期優良住宅」の全棟採用	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 3	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 2	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の日程を事務局より未受講者へ通知し、促進を図る	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ルールにおいては、省エネ基準の1ランクUPであるが、HEAT20におけるG1グレードを推奨	◎
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木美だんらの家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 吉備の家造り研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0452-0599	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

ゼロエネルギー住宅においては、主体6地域(一部5地域)のエリアであるが、3地域基準であるUA値0.56の適応をめざす。
認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅においても、ゼロエネルギー住宅に求められる外皮性能をめざす。
蒸暑地であることから、夏場対策強化として、 ηA 値においては、28年基準値より、3割以上強化することとする。(高度省エネ型全般)